



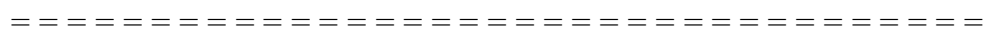
地域日本語支援ニュース こだま 第 246 号

2013.12.12



★—メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます—★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

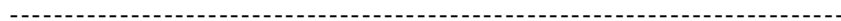


■ともに生きる■

「今日から、わたしの新しい人生がはじまる」

J T Mとくしま日本語ネットワーク
兼松 文子

前号に引き続き、今号も J T Mとくしま日本語ネットワーク代表
兼松文子さんから、公益社団法人徳島県労働者福祉協議会（労福協）
主催の就労支援日本語講座の概要と成果、AJALT が開発中の E ラー
ニング教材「仕事を探そうー履歴書の書き方から面接まで」の活用、
また、何より外国の人たちにとって「働く」ということはどうい
うことか、熱い想いを寄せていただきましたので、ここにご紹介いたし
ます。
☆☆☆☆☆☆☆☆



◆専門用語や書き言葉◆

J T Mとくしまの事務局を置く公益社団法人徳島県労働者福祉協議会（労福協）では、2009 年度から県内在住外国人の就労支援事業として、職場で通用する日本語やビジネスマナーを学ぶ「就職のための日本語講座」と、介護現場で必要とする日本語や心構えを学ぶ「介護の日本語講座」を実施しています。両講座とも平日の午前中 3 時間、総学習時間 120 時間を 2 カ月かけて行っています。これまでにフィリピン、中国、韓国など 9 カ国 57 名（実数）が受講し、18

名が介護の資格を取得、17 名が介護現場で活躍しています。他の修了生も飲食業や宿泊業、接客業等に就職を果たしています。

J T Mとくしまは、両講座の日本語指導を担っており、7、8 名の講師がローテーションを組んで指導しています。後半の「介護の日本語講座」では、介護現場で日常的に行われる「申し送り」や「日報」による報告を想定した専門用語や書き言葉の習得のためにかなりの時間をかけていますが、就職活動に必要な履歴書の書き方にまでは手が回らない状況でした。

◆E ラーニング教材に手応え◆

AJALT から、開発中の E ラーニング教材「仕事を探そうー履歴書の書き方から面接まで」のモニター協力のご依頼をいただいたのは、両講座の修了生がホームヘルパー2 級養成講座を受講しているさなかでした。さっそく試作版を視聴しました。画面からは、AJALT の先生方の、理解しやすい日本語を使ったやさしく語りかけるような説明が聞こえてきました。1 課ごとの時間も数分以内にまとめられていて、集中して楽しく学習ができと思いました。講座終了後、就職活動をしなければならない受講生にとって、時間空間を問わず質の高い学習ができる教材、特に履歴書の書き方が学べる教材は画期的なものだと手応えを感じました。

モニターには養成講座を受講中のフィリピンの4 人の方が協力くださいました。講座が始まる 30 分前の時間を活用して少しずつ練習を重ねました。非漢字圏の受講生にとっては、日本語で履歴書を書くことは生易しいことではありませんが、キーワードやすぐに使える文例がたくさん紹介されている E ラーニング教材の心強い応援を得て、目の前にある就職という目標に向けていっそう真剣に努力する姿が見られました。その様子を間近で見えていて、E ラーニング教材には「書く」ことに対する負担を軽減するだけでなく、就職活動への不安を和らげる効果もあると感じました。

◆ことばの贈り物◆

外国の人たちの「働く」を見据えた支援に取り組んでいると、折々に心に残る言葉の贈り物を受け取ります。日本語講座の修了式で、「みんなでいっしょに頑張ってこられたこのクラスは、ひとつの家族のようでした。」と目頭を熱くして語った言葉。介護の資格証を手にし、背筋を伸ばし真っすぐ前を見て「きょ

うから、私の新しい人生が始まる。」と凜とした表情でつぶやいた言葉。就職後、近況を伝える受話器の向こうから、「失敗ばかりしてくじけそうになったとき、先生の言葉や笑顔を思い出して、辞めないで続けることができました。」と聞こえてきた言葉。

その言葉は、「働く」ことの意味を問いかけてきます。「働く」ことは、居場所を持つこと、地域とのつながりを持つこと、誇りを持つこと、誰かの役に立っている、ともに生きていくと実感できること……そう教えてくれているように思います。そして、私たちのほうが彼女たちの努力や受け取った言葉にどれだけ励まされているかに気づかされます。前号でご紹介した田村マリフェさんが、「あなたたちがいなければ、私たちはここにいない。私たちがいるから、あなたたちがいる。お互いに助け合いね。」と利用者さんに伝えた言葉とも相通じるものがあります。

E ラーニング教材で履歴書の書き方を学んでから半年間のうちに、田村さんはじめ全員が介護施設に就職を果たしました。今年度は 11 月に開講した労福協の介護初任者研修講座に 9 名が挑んでいます。講座をのぞきに行くと、みんな口を揃えて「むずかしいです。」「たいへんです。」と言います。でも、みんな笑顔で頑張っています。その笑顔にまた私も励まされています。

彼女たちが来年の春、介護の資格を取得する頃に、また E ラーニング教材を紹介したいと思っています。
